

# 耕作放棄地で トウモロコシ

## 浜松の団体が収穫、販売

浜松市天竜区春野町の若手農家や市内大学生らでつくる春野耕作



収穫したトウモロコシを販売する春野耕作隊のメンバー15日前、浜松市天竜区春野町

隊(伊沢光興代表)は15日、町内の耕作放棄地で育てたトウモロコシを収穫した。即日袋詰めにして町内で売り出した。

春野耕作隊は、手入れをしなくなった茶畑などを耕して野菜畑にする活動を通じ、地元産野菜の需要拡大や都市と農村の交流に取り組んでいる。活動は5年目。

メンバー15人が早朝から白色スイートコーンのクリスピーホ

ワイト約550本を収めた。同町内のJA遠州中央の2支店で販売した。静岡文化芸術大(浜松市中央区)の山間地域活性化サークルラボックの2人も農家に前泊し、手伝っ

た。JAによると、クリスピーホワイトは比較的新しい品種で甘みが強くサクサクとした歯ごたえが特徴。別品種のゴールドラッシュも含め、7月中旬まで収

穫、販売する。地元農家の伊沢代表(35)は「耕作放棄地は景観的にも良くない。地元の子どもが夢を持てる地域にしたい」と話した。(天竜支局・松本直樹)